

事業の背景・目的

岡崎市は生物多様性おかざき戦略に基づき、多様な自然を後世に残すため、湿地保全を進めている。これまで、重要湿地に選ばれている市内の湿地のうち、北山湿地においては市民による定期的な保全活動が実施されており、市は保全活用計画を定め、市と市民活動団体と学識者3者による懇談会を設置し、計画的に保全を進めてきた。本事業では北山湿地のみならず自然共生サイト認定申請検討中の小呂湿地を、より多くの市民が自然と触れ合うことができる拠点となるよう、基盤づくりを実施していく。また、懇談会を協議会に格上げし、その他の湿地を含め、様々な主体と連携をしながら調査・保全・活用に向けた体制の構築等も併せて実施していく。

事業の内容

事業① 湿地調査事業

- ・小呂湿地の湿生植物生育状況調査及び遺伝子調査
- ・市民ボランティアの調査データ整理
- ・調査データの地図へのプロット化及び資料作成



事業② 湿地整備事業

- ・小呂湿地案内看板設置
- ・北山湿地の樹木で樹名板作成
- ・小呂湿地種子落としマット設置



事業③ 湿地活用事業

- ・小呂湿地自然観察会実施
- ・北山湿地親子向け観察会実施
- ・小呂湿地パンフレット作成



得られた成果

- ・湿地の案内看板設置や樹名板作成により、湿地に訪れた方々がより湿地を理解してもらえるような整備を実施することができた。
- ・小呂湿地での自然観察会の実施や、小呂湿地のパンフレットを作成することで、より多くの市民に自然を知ってもらうことができた。
- ・小呂湿地の湿生植物の状況調査や、市民ボランティアの調査データを整理し資料化することで、継続的なモニタリングやより効果的な種別の保全へと繋げることができた。また、調査データは今後の小呂湿地の自然共生サイト認定申請のための基礎資料として活用していく。
- ・新たに岡崎北高校の理数科生徒と共同で小呂湿地の保全作業や調査を実施。地元の学生に調査活動の場を提供し自然環境への理解を深めてもらうとともに、保全活動の輪を広げることで継続的な生物多様性保全に繋がる。
- ・湿地保全作業の参加者が昨年度より200名増加した。

・本協議会は、学識者・市民団体・市の三者共同の協議会であり、三者で意見や情報交換を行うことで、より効果的な保全や活用が期待できる。引き続きこの活動体制を維持し、生物多様性保全の推進に努めていく。



【高校生によるサワガ調査】